家庭園芸

ご相談は 園芸センター(☎86—1034)へ。月曜日は休園です。(月曜が祝日のときは火曜日休園)

"夏のクレマチス"

一般にテッセンとも呼ばれて、垣根づくりや鉢花として大変愛好されてきています。第二のバラと言われていますが、まだまだバラほどには至っていません。丈夫で作りやすい植物で、五月中旬頃から咲きつづけていますが、四季咲きの品種がほとんどで、大輪白花のマダム・バンホーテ、濃赤色で花つきのよいクリムソン・キング、濃青紫色の代表的なザ・プレンデントなど、いろいろの品種が出回っています。良い花をつづけて楽しむには、これからの手入れを注意しましょう。開花後の手入れ、これを怠るとその後の花つきが悪くなるし、葉が黄変したり、以後の芽の伸びも悪く、生育が全般的に衰えてきます。品種によって、せん定の強弱が違ってきますが、普通は、咲き終りの花の直下一～二節の節間で切りとります。花が咲きつづける間、このせん定をくり返します。真夏ともなると、暑さと乾燥を防ぐ敷きわらなどの株元への施用が必要です。湿度を好みますから、鉢物は、水やりは朝のうちにたっぷりと、置場所も風通しのよい半日陰を。

坂道も"ヘッチャラ"さ

海浜公園—関屋分水　車イスでジョッギング

松林の中を元気に力走する選手たち

「車イスでジョッギングを楽しもう」と、新潟中央生輪クラブ、車イスで街に出よう会では、さる六月二十一日、海浜公園で、初の「車イスジョッキング大会'81」を開きました。これは、車イスの人は普段とかく家にとじこもりがち、青空の下で、外の空気を吸って、せいいっぱい体を動かそう、と企画されたもの。

当日は、梅雨の晴れ間であまり暑くもなく絶好の日和。身障者、ボランティア、家族—など約六十人が集合。

ジョッギング出場者は、車イスに乗った障害者四十人、健常者で車イスで参加した六人の計四十六人。午前十時四十五分、小さい子は母親やボランティアが押してやり、大人は自分の手で車輪を回わして元気よくスタート。

コースは、海浜公園の市営プール前からサイクリングロードを通り、関屋分水までの約六キロ。途中、松林や海をながめながら思い思いのペースで力走。約二時間で到着の予定が、一番早い人で約三十六分というスピード。一位ははまぐみ学園の中村一雄くん(一五)で、タイムは三十六分三十秒。伴走したボランティアも追いつけないほど。「帰りの道が向かい風で疲れた。機会があったらまた出たい」と汗だくで話していました。また女性一位の稲田さんは「疲れたけれど、たいへんさわやかです。みなさんの協力があったので出られました」と満足そう。

午後からは、レクリエーション大会にうつり、車イスに乗って玉をころがして得点を競うゲームや、車イスリレー競争などで一日中歓声があがっていました。

ご存知ですか！「匂いの花園」

—盲人でも楽しめる園路です

花木でおおわれた園路は夏でも涼しさ満点

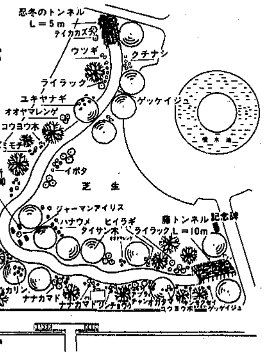
大きな噴水池で知られる県民会館前公園の一角に、目の不自由な人も四季折々の花や木を楽しめる園路があるのをご存知ですか。

ちょっとイキでロマンチックなこの園路は、「匂いの花園」と呼ばれる長さ八十三メートルの花木のトンネルです。

健常者はもちろん、目の不自由な人が嗅・聴・触(かぐ、きく、さわる)の残された三つの感覚で、四季の花木に触れ、自然の美しい語りかけを楽しんでいただくため、数年前に市で造りました。このような園路は日本で奈良県の壷坂寺とここの二カ所しかありません。

園路は、長さ八十三メートル、幅一・五メートルで、入口には点字の案内板が立っています。園路の両側にはパイプの手すりがあり、盲人の方が一人で散策できるようになっています。

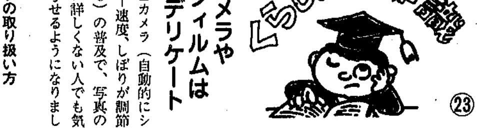
花木は全部で二十三種類、三百本あり、特に匂いのあるものを集めました。途中の休憩所のベンチでは、小鳥のさえずりや噴水の心地良い音が楽しめます。



開花の時期

季節	花木名
春	カリン、梅、ローバイ、ナナカマド、藤、アブラチャン、ユキヤナギ、ライラック、ハマナス、沈丁花、大山れんげ
初春～初夏	忍冬、ツツジ
初夏	紅葉木、白雲木、つくばねうつぎ、オダタマ、ていかかずら、イボタ
夏	クチナシ、泰山木
秋	キンモクセイ、ヒイラギ

くらしの豆知識 ㉓



カメラやフィルムはデリケート

EEカメラ(自動的にシャッター速度、しぼりが調節される)の普及で、写真の知識に詳しくない人でも気軽に写せるようになりました。

カメラの取り扱い方

▼レンズやファインダーに指紋などをつけない▼使用後はほこりをふきとっておく▼ぶつけたり、落としたり乱暴に扱わない▼潮風に注意▼バッテリーチェックを忘れないこと。水銀電池が消耗していないか確める(耐用年数は約一年間)

フィルムの取り扱い方

▼フィルムは箱に表示された有効期限を確認▼カメラに入れたフィルムは一カ月以内で写し終えるように▼フィルムは高温、多湿に弱く、未提影フィルムより撮影済みフィルムのほうが変質しやすい▼フィルムは買いだめしない。多く買った場合は、ビニール袋の中に入れて冷蔵庫で保存を

ネガの保存

▼ネガカバーに入れ、データーを記入して保存を▼コンタクト(ベタ焼き)をとって一緒に整理しておくと、必要なときに、欲しい写真がすぐ選び出せます▼保存には特に神経を使い、高温、湿気に注意します。いったんかびがつくととれないうえ、どんどん増えて、使いものにならなくなります。

現像時のトラブル

紛失や現像ミス事故に対して、業界では補償の基準を設けていますが、写真の評価額の算定が難しく、フィルムの代償しかしていないのが現状です。事故が起こったら十分に話し合いましょう。

救急車を要請される皆さんへ

～消防署から～

急病人の場合…救急車が到着するまで

一、保険証を用意し、出入口等の障害物を取り除き患者が出やすいようにしておいてください。

二、救急車が到着したら、隊員に患者の容態や応急手当の内容等簡単に話し、指示にしたがってください。

三、あわてているため火気の消し忘れ等で火事を出さないよう十分注意してください。

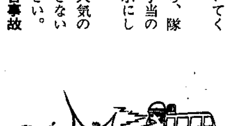
交通事故その他の災害事故の場合…救急車が到着するまで

一、重傷者の場合、付近の人はできるかぎり静かにして患者のショック防止に協力ください。

二、負傷者が意識不明で口や鼻が閉ざされている場合、障害物を取り除き患者の呼吸ができるようにしてください。

三、現場付近の人は救急隊の指示にしたがって協力してください。

四、病院への収容は、救急隊が傷病者の傷状により病院を選定し運びますので安心しておまかせください。



「文芸にいがた」作品募集

種目 小説、詩、短歌、俳句、川柳、児童文学(童話)、随筆
応募先 八月三十一日までに市中央公民館文芸誌係へ
問い合わせ 市中央公民館(☎28—1000)か各公民館へ

くちなしの会 会員募集

詩の創作と鑑賞の会です。
日時 毎月第三日曜日午後二時～四時
会場 中央公民館二階和室

会員募集

◈バンビの会

2～3歳児をお持ちのお母さん、子連れで学びませんか。日常生活の問題を話し合いながら、家庭と社会の拡がりの中で母親の生き方を考えます。なお、お子さんは、学習中別室で保育します。
日時 毎週火曜日午前10時～正午
会場 中央公民館
助言者 本田典子(青陵女子短大助教授)
申し込み・問い合わせ 7月15日までに電話で戸川(☎67—0650)または菊地(☎77—1774)へ

◈水楽会(詩吟)

日時 毎週水曜日午後7時～9時
会場 北部公民館　**会費** 月1,500円
申し込み 藤田(☎23—2976)へ

◈つまみ絵グループ

日時 毎月第1·3木曜日午前10時～正午
会場 松浜公民館　**会費** 月1,000円
申し込み 髙橋(☎59—5445)へ

大形公民館講座

会場 大形連絡所
定員 いずれも30人(先着順)
申し込み・問い合わせ 大形公民館(☎73—5684)へ

〈大形家庭料理教室〉
日時 7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、11月27日の午前10時～正午(計5回)
内容 応用のきく家庭料理
経費 材料費1回500円前後

〈大形家庭電気教室〉

月日	内容	月日	内容
7·22	電気の基礎知識	10·7	家庭の照明
9·2	上手な使い方	10·28	発電から消費まで
9·6	修理実習		

時間 午前10時～正午
(家庭園芸教室、次回は7月23日です)

坂井輪地区
親善交歓卓球大会

日時 7月19日午前9時～午後3時
会場 坂井輪中学校体育館
対象 小針、坂井輪、五十嵐中学校区の市民(学生の参加は認めません)
種別 シングルス、ダブルス
クラス 男女別A・B・C
申し込み 7月15日までに電話で前田(☎67—5891)、野口(☎65—4782)、平野(☎60—3411)か、各小学校区担当の体育指導委員に直接申し込みください。

椿講座

日時 7月19日午後1時15分～3時15分
会場 園芸センター研修室
テーマ 椿の接木とさし木
講師 日本椿協会会員
定員 50人(先着順)
申し込み 電話で園芸センター講習会係(☎86—1034)へ

—あなたの作る祭り— 第3回青春村inにいがた開催！

ゲームやダンスなどでお互いの親睦をはかり、青年のもつエネルギーを燃やそう。
期日 8月29・30日(テント泊)、雨天の場合は9月5・6日延期
場所 海浜公園(金衛町)
参加費 1,500円
申し込み 8月10日までに参加費を添えて、第3回青春村inにいがた実行委員会(弁天町1、リリイビル4階、☎44—5375)、または中央公民館(西堀通6、☎23—7070)へ。※運営委員会を毎週火曜日午後6時半から、中央公民館で開催しています。興味のある人、協力してくださる人はお気軽にどうぞ。